

産業消防常任委員会会議記録

日 時 令和3年4月9日（金曜日）

午前10時 0分 開議

場 所 水戸市議会 第4委員会室

午前10時33分 散会

付託事件

(1) 所管事務調査

1 本日の会議に付した事件

(1) 報告事項

① 古の水戸城址復興記念事業について (観光課)

② 水戸市農業委員会補欠委員候補者の募集等について (農政課・農業委員会事務局)

(2) その他

2 出席委員（7名）

委員長	大津亮一君	副委員長	森正慶君
委員	田口文明君	委員	黒木勇君
委員	渡辺政明君	委員	栗原文隆君
委員	安藏栄君		

3 欠席委員（なし）

4 委員外議員出席者（1名）

議員 田中真己君

5 説明のため出席した者の職、氏名

副市長 田尻充君

産業経済部長 鈴木吉昭君 産業経済部参事 川崎幹男君

産業経済部参事兼商工課長 長谷川昌人君 産業経済部技監兼農政課長 深澤和広君

観光課長 小林一仁君 農業環境整備課長 三村隆君

農産振興課長 後藤俊之君 公設地方卸売市場長 宮田正一君

消防局長 小泉直紀君 消防次長 大内康弘君

消防局参事 箕輪重美君 消防局参事兼火災予防課長 石田宏一君

北消防署長 青木剛君 南消防署長 勝村俊則君

消防総務課長 猿 田 純 夫 君 消防救助課長 大 信 成 人 君

救 急 課 長 栗 原 政 人 君

農 業 委 員 会
事 務 局 長 横 山 英 雄 君

農 業 委 員 会
事 務 局 次 長 吉 川 正 浩 君

6 事務局職員出席者

書 記 大 内 し お り 君

書 記 島 田 祐 輔 君

午前10時 0分 開議

○**大津委員長** おはようございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから産業消防委員会を開会いたします。

議事に入ります前に、4月1日付をもちまして人事異動がありましたので、これに伴う役付職員の紹介を願います。

なお、前例では、人事異動のあった係長以上の役付職員について紹介を行っていたところではありますが、今回は人事異動のあった出席説明員についてのみ紹介を行うこととし、出席説明員以外の人事異動のあった役付職員につきましては、お手元に配付してあります役付職員配置図のとおりでありますので、御了承願います。

それでは、別紙役付職員配置図に沿って順次、紹介を願います。

○**鈴木産業経済部長** 産業経済部の新たな役付職員を紹介いたします。

公設地方卸売市場長、宮田正一でございます。

○**宮田公設地方卸売市場長** 宮田でございます。よろしくお願いたします。

○**鈴木産業経済部長** よろしくお願いたします。

○**小泉消防局長** 今回の組織の改編によりまして、消防局長を拝命いたしました小泉直紀でございます。引き続き、よろしくお願いたします。

それでは、消防局の役付職員の紹介をいたします。

消防局参事の箕輪重美でございます。

○**箕輪消防局参事** 箕輪でございます。どうぞよろしくお願いたします。

○**小泉消防局長** 参事兼火災予防課長の石田宏一でございます。

○**石田消防局参事兼火災予防課長** 石田です。どうぞよろしくお願いたします。

○**小泉消防局長** 北消防署長の青木剛でございます。

○**青木北消防署長** 青木です。よろしくお願いたします。

○**小泉消防局長** 南消防署長の勝村俊則でございます。

○**勝村南消防署長** 勝村です。どうぞよろしくお願いたします。

○**小泉消防局長** 消防総務課長の猿田純夫でございます。

○**猿田消防総務課長** 猿田です。どうぞよろしくお願いたします。

○**小泉消防局長** 消防救助課長の大信成人でございます。

○**大信消防救助課長** 大信でございます。よろしくお願いたします。

○**小泉消防局長** 救急課長の栗原政人でございます。

○**栗原救急課長** 栗原でございます。よろしくお願いたします。

○**小泉消防局長** どうぞよろしくお願いたします。

○**大津委員長** 以上で、人事異動に伴う役職者の紹介を終わります。

それでは、これより議事に入ります。

初めに、報告事項の説明を行います。

古の水戸城址復興記念事業について、執行部より説明願います。

小林観光課長。

○小林観光課長 それでは、古の水戸城址復興記念事業について、観光課提出の資料により、御説明を申し上げます。

古の水戸城址復興記念事業につきましては、水戸城大手門や二の丸角櫓など、歴史的建造物や景観整備の完成を記念し、地域の方々と市民協働による事業を実施することで、水戸ならではの歴史や文化、伝統といった地域資源を磨き上げ、その魅力を広く発信するとともに、郷土愛の醸成を図るものでございます。

4の期日につきましては、4月30日金曜日と5月1日土曜日の2日間、弘道館・水戸城跡周辺を舞台に開催いたします。小雨でも決行でございます。

6の内容でございますが、まず、4月30日金曜日には、地元の三の丸自治コミュニティ連合会、水戸藩葵組が主催となり、「～水府提灯が醸す、古都の夕べ～」と銘打った水戸城大手門ライブが開催されます。水戸大手門広場前を会場に16時30分から20時30分までの予定となっております。本市を代表する伝統工芸品であります水府提灯で会場内を装飾し、国田太鼓や雅楽といった、和をテーマとした演奏をはじめ、地元の小中学生や地元出身のアーティストの方々によるライブイベントを実施いたします。また、フィナーレには花火の打ち上げも予定しております。

なお、出演団体につきましては、水戸市立第二中学校をはじめ、記載のとおりとなっております。

続いて、翌日、5月1日土曜日には、水戸観光コンベンション協会が主催となり、「～コロナを乗り越えて～」と銘打った古の水戸城址整備完成記念イベントを開催いたします。茨城県三の丸庁舎前広場を会場に10時から15時までの予定となっております。水戸東武館による武道演武をはじめ、周辺の教育機関とも連携し、吹奏楽や合唱、ダンスなど様々なステージイベントを開催するほか、会場内には協賛いただいております企業や飲食店等のブースの出店も予定しております。

出演団体につきましては、水戸東武館をはじめ、記載のとおりでございます。

恐れ入りますが、ページを返していただき、2ページを御覧願います。

あわせて、5月1日土曜日の水戸東照宮による100年ぶりとなる、伝統ある水戸祭禮行列につきましては、二の丸や三の丸など水戸学の道を行程として、10時から15時までで行われます。

地元の方々を中心に騎馬武者や鉄砲隊など、総勢300人余りが練り歩きます。これらの取組を通して官民連携の事業として、相乗効果を一層高めてまいりたいと考えております。

続きまして、7の周知・広報といたしましては、「広報みと」やホームページ、SNS等の活用による周知はもちろんのこと、地区の会報や新聞、フリーペーパー等でのPRのほか、ノベルティグッズ等、記念品の製作、配布も行ってまいります。

本市といたしましては、今回の記念事業開催後も引き続き、同地区の地域資源の磨き上げに資する取組を行うとともに、積極的な情報発信に努めてまいりたいと考えております。

最後に、感染予防対策につきましては、新型コロナウイルス感染症の状況を勘案しながら、国や県が定めるガイドラインに基づき、手指消毒液の設置やマスク着用の徹底、検温の実施など、予防対策を講じた上で実施することとし、来場者や関係者の皆様にとって安心・安全なイベントの運営に努めてまいりたいと考え

ております。

説明につきましては、以上でございます。

○**大津委員長** 内容について、何か御質問等がございましたら、発言を願います。

〔「じゃ、一つだけ」と呼ぶ者あり〕

○**大津委員長** 渡辺委員。

○**渡辺委員** 今、課長から報告いただきまして、ありがとうございます。

私も地区会のほうで関わっておったものですから、本当に観光コンベンション協会さん、また観光課の皆様方にはたいへんお世話になったということで、感謝申し上げます。

ちょっと報告なんですけれども、歴史文化財課が担当してまして、これと非常に関連があるということで、ちょっとお話しさせていただきたいんですけれども、3月30日に、一枚瓦城主の募金運動が解散式を行いました。1億円という目標を掲げ、市民参加型の歴史のまちづくりということで、7年前にスタートしたんですけれども、総額8,900万円をちょっと超える金額が集まりまして、本当に大勢の企業の皆さん、そして、また1枚3,000円の瓦に水戸の魅力あるまちの将来を託してくれた大勢の市民の方々がいらっしやっただけでございます。あわせて、その当日、実行委員会の会長をなさっております大関様より感謝の御挨拶があったところでございます。全国でもあまり例のない市民参加型の、瓦を1枚ぜひ協力願いたいという運動も無事終わったということで、そういうものもあって初めて、今日の報告にあった復興記念事業が出来上がるということでございます。あわせて、私も副会長をしていたものですから、議員の皆様、執行部の皆様にも協力いただいたことに心から感謝を申し上げたいと思います。

以上です。

○**大津委員長** ほかにございませんか。

ないようですので、次に、水戸市農業委員会補欠委員候補者の募集等について、執行部より説明願います。
深澤技監兼農政課長。

○**深澤産業経済部技監兼農政課長** 水戸市農業委員会補欠委員候補者の募集等について、御説明をいたします。

農政課、農業委員会事務局の連名で提出の資料を御覧ください。

本件につきましては、任期中の農業委員会委員に2名の欠員が生じたことから、補欠委員の選任を行うため、農業委員会委員候補者の募集を行うものでございます。

スケジュールにつきましては、募集・推薦期間を4月13日から5月12日、応募者の整理・公表を5月中旬に予定しております。

選任する委員数は2名でございます。

募集する委員の任期は、前任者の残任期間となります。

2の選任方法でございますが、市長が条例に基づき、水戸市農業委員会委員候補者選考委員会からの答申を踏まえて候補者を選定し、議会の同意を得て任命することとなります。

(1)の選考委員会による選考につきましては、5月から6月にかけて、会議を開催する予定でございます。

(2)の議会への提案につきましては、6月の令和3年第2回定例会を予定しております。

説明は以上でございます。

○**大津委員長** 内容について、何か御質問等がございましたら発言をお願いします。

田口委員。

○**田口委員** これ、欠員2名ということで、補欠選挙なんだけれども、何でこれ、途中で亡くなったか何かして欠員になったのかな。ちょっとその辺を説明してください。

○**大津委員長** 吉川農業委員会事務局次長。

○**吉川農業委員会事務局次長** ただいまの御質問にお答えいたします。

今回の欠員につきましては、2名、農業委員本人から辞任届が出されました。その内容につきまして、水戸市長、それから農業委員会にて了解したものでございます。

○**大津委員長** 田口委員。

○**田口委員** 今までこういうふうに途中で農業委員さんが辞任したなんて聞いたことがないんだけど、何か理由があったのかな。

○**大津委員長** 吉川次長。

○**吉川農業委員会事務局次長** ただいまの質問にお答えいたします。

お一人につきましては、令和2年10月に、一身上の都合によりということで、辞任届が出されておりました。もう一人も、一身上の都合によりということでございます。

○**大津委員長** ほかにございませんか。

渡辺委員。

○**渡辺委員** これ農業委員会の選任については制度が変わったんですよね。今回2名を選任するというところで、市長が答申を受けて選任するという流れですよね。また、この2名というのは、これから農業委員会さんのほうで決めていくわけだね。

ところで、農業委員会さんの今の会長というのは誰がやっているんですか。

○**大津委員長** 吉川次長。

○**吉川農業委員会事務局次長** ただいまの質問にお答えいたします。

会長は笹沼恭一でございます。

○**大津委員長** 渡辺委員。

○**渡辺委員** というのは、ここにも書いてあるように、候補者を選定し、議会の同意を得て任命するとなっていますよね。これ、議決案件なんだよね。しかるに、いわゆる制度が変わってから農業委員会さんの報告とか、そういうものは一切、今までないんだよ。昔はあったような気がする。農業委員会さんの不祥事とか、そういうのもあったからなのかもしれないんだけど、何の報告もないということは、我々は選任した以上、この最初の24人を選任したわけですから、やっぱり農業委員会さんの活動の報告ぐらいはないと、委員会として、これ成り立たないよ。と、私は思うんですけども、その辺のところはどう考えているの。

○**大津委員長** 吉川次長。

○**吉川農業委員会事務局次長** ただいまの質問にお答えいたします。

農業委員会の事務としまして、遊休農地が多くなっております。そういったことで、地域の農業を守るた

め、農地利用の最適化ということで、遊休農地の解消、それから農地の集積、そういったものを進めております。ただ、そういった報告を今までしてこなかったというのは、大変申し訳ございませんでした。これからは、そういった結果を御報告できるように努めていきたいと思っております。

○大津委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 俺も怒っているわけじゃなくて、やっぱりこの委員会はセレモニーじゃないんで。我々が選任した以上、例えば今言ったような、いろいろこういう活動していますよということも、たまには報告がないと。まるで部外者みたいな形になっていて、我々はただ人を選べばいいんだということではなく、やっぱり選任をした者として責務を果たさないと、というところがありますし。

一つだけ聞きたいのは、農業委員さんの組織は前と同じで、農政係とか、あと農地係と2つに分かれているんですか。

○大津委員長 吉川次長。

○吉川農業委員会事務局次長 ただいまの質問にお答えします。

以前は農地部会、農政部会というふうに2つに分かれていたんですけども、制度が改定になりまして、今、そういった部会制がなくなっております。それで水戸市としましては、総会ともう一つ、農地利用の最適化を進めるために推進協議会という係をつくりまして、そういったところで農業委員さんも活動しております。

○大津委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 私も素人というか、知識がちょっと足りないんで。例えば農地転用の場合、今までは農地部会がやっていたのかな。そうですね。すると、今は、それはどういうふうになっているの。みんな誰もその委員会に諮らないで事務局のほうに言って、事務局でそれをチェックして、その転用の許可を出したりすると、そういう感じなんですか。

○大津委員長 吉川次長。

○吉川農業委員会事務局次長 説明が足りなくて申し訳ございません。

今の転用につきましては、毎月定例の総会をやっています、農業委員全員が出席しています。ただ、現在コロナの関係で、人数を制限して開催しているところでございます。

○大津委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 公明、公正にやっつけらっしゃるという前提で、私は理解しているんですけども、過去にいろいろあったものですから、その報告等も含めて、例えば、こういう転用の申請が年間で幾つぐらい出ているとか、それについて、今言ったような総会なり議論がありましたとか、それについてこれは却下しましたとか、そういう部分も期間を区切って、やっぱり報告する義務があるような気がします。また、活動も、やはり平日頃こういうふうに行っていたらいいんだというものも報告する義務が農業委員会にはあるというふうを考えていますので、今後、ぜひそのようなことも視野に入れて対応していただきたいということを申し述べておきます。

以上です。

○大津委員長 田口委員。

○田口委員 一つ、ちょっと言い忘れちゃったんだけど、私たちは農業委員の任命に賛同して同意も与えたんだけど、この辞めた人の名前、これというのはちゃんと聞かないと、どの人が辞めたんだかわからない。本当は、同意事項だから議会で辞めましたよということを全議員に言わなくちゃいけないんじゃないかなというふうに思います。だから、どの方が辞めたんだか、ちょっと確認したい。

○大津委員長 吉川次長。

○吉川農業委員会事務局次長 ただいまの御質問にお答えいたします。

辞任の場合、市議会の同意というのは必要なかったという解釈していたために、今まで報告をしていませんでした。申し訳ございませんでした。

今回のお二人の方につきましては、お名前ですが、1人は飯島清光委員、こちらが令和2年10月13日付で辞任でございます。

もう1人が園部優委員、こちらが令和3年3月15日付で辞任ということでございます。

〔「地区はどこなの」と呼ぶ者あり〕

○大津委員長 エリアも含めて。

吉川次長。

○吉川農業委員会事務局次長 説明が足りなくて申し訳ございませんでした。

水戸市農業委員会としましては、旧村単位でエリアを設けてございまして、さきの飯島委員につきましては、旧常澄地区の稲荷地区でございます。園部委員につきましては、飯富地区でございます。

以上でございます。

○大津委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大津委員長 ないようですので、次に、その他に入ります。

委員より何かございましたら、発言を願います。

黒木委員。

○黒木委員 昨日、観光コンベンション協会の水戸黄門まつりの企画の会議に、議会を代表して出席させていただきました。その中で、令和3年度の水戸の黄門まつりの実施に向けた議論がありました。その中で私もちょっと意見を言わせていただいたんですが、ちょっと場所的に、今日のこの委員会の場が適切かなというふうに思いましたので、ちょっとその点、確認させていただきたいと思います。

令和2年度は実施できなかった、中止になったということで、観光コンベンション協会の会議に参加された方も何とか実施したいということで、種々話が出ておりました。私自身としても、何とか黄門まつりが実施できればという形で考えております。その一方で、議員という立場からしますと、まず一番基本的なことは、市民の方、また近隣から見に来られる方の命を守ることが最重要課題だということで申し上げたいと思います。今、新型コロナウイルスの第4波という形で、まん延防止等重点措置が既に大阪、兵庫、宮城で出されておまして、今日にも、また東京都、京都、沖縄が適用になるという報道もされております。そういう中で、水戸市においても、ピークは過ぎても、新規感染者数が10名になったり、数名になったりですけれども、コロナに感染する方がいらっしやると。その中でワクチン接種もこれから高齢者の方、まず

は施設入所者から始まりまして、そのうち、高齢者の方が打ち終わるのが6月、7月までかかるのか。全員の高齢者じゃなくて、希望する方しか打たないということなので、打たない方も実際にはいると。そういう中で縮小したとしても、これまでと同様の祭り体系を取ったときに、市民の理解が得られるのかどうかということを非常に危惧しています。中心市街地の歩行者、車両通行止めにして行う祭りが本当に感染者を出さずにできるのかということを危惧しております。その部分は担当部局のみならず、水戸市の保健所や消防、また医療機関の方、水戸市医師会の方等、そういう方々とよく役所の中でもしっかりと議論していただいて、役所としての考え方を観光コンベンション協会に対してしっかりと伝えていくということを行っていただきたいというふうに思います。昨日の議論を聞いていますと、もう、さあ行くぞという雰囲気非常に強い会議でしたので、この後、実行委員会を設けながら、方向性を決めていくということで、昨日は、結論は出ませんでした。でも、議会の代表で行っている立場としては、今申し上げたとおり、とにかく命を守ることが市役所の使命ですので、生命、財産を守るという立場で、物事を市役所全体で考えてほしい。今日は副市長もいらっしやっていますので、保健所も今大変な状況で、連日残業しながら休日返上で仕事をしている。また、ワクチン接種も大変な状況で、これから打っていかなくちゃいけないというときのまつりが安全にできるのかという部分、一言、課長からお話いただきたいと思います。

○**大津委員長** 小林観光課長。

○**小林観光課長** ただいまの黒木委員からの黄門まつりの開催に関しての御質問でございますけれども、昨日、黄門まつりの今年度開催に向けて、企画委員会のほうを開催したところでございます。御説明があったように、市議会を代表して黒木議員にも御出席をいただいたところでございます。

その中で昨日の議論につきましては、開催するに当たって、開催する場合はこのようにしてはどうかという案を提示させていただき、議論を重ねていただきました。ただ、委員からも御指摘、御意見があったとおり、実施を断念する場合には、いつ中止の判断等をすればいいのかというところは、これからという部分がございます。今後実行委員会を開催するまでに、しっかりと細かに議論をしていきたいというふうに考えております。その中で保健医療担当の部署ともよく協議し、さらに、細部にわたる祭りの関係者の方、部会の方とも意見交換等を積極的に行いながら、市民の安全、来場者の安全を、どのように確保するのかについて深く掘り下げて議論し、しかるべき適切な時期に判断してまいりたいというふうに考えております。よろしく申し上げます。

○**大津委員長** 渡辺委員。

○**渡辺委員** 今の黒木委員の質問に対して小林課長のほうから、今答弁があったんですけども、これ私の個人的な意見として申し上げますけれども、例えば黄門まつりにしても、先ほど報告があった古の水戸城址の復興記念行事にしても、人が集まるという、これは経済活動について幾らかでもプラスになっていく、そういう背景があるというふうには感じております。コロナの第4波と言われていることについて、今黒木委員のほうからも指摘がありました。確かに、また大変な状況になりつつあるのかなとは思っております。それで、やはり正直に、いわゆる恐れるということを前提として、コロナが収まったから、じゃ、事業をやろうかなとってできるんだったらいいですよ。一つの事業というのは、少なくとも1年ぐらい前から計画を立てて準備をして、そして一つ一つの問題点をクリアしながら当日を迎えるということで、もちろん黄門ま

つりにしても、黄門漫遊マラソンにしても、もうスタートして何か応援をしていただけるかという団体の申込みなんかも来ていますよね。まさしく今、その辺のちょうどはざまのところにいるのかなと、私は思っております。水戸の場合、この前のスナックですか、そういうところで、またクラスターみたく出ているようですけれども、やはり、これゼロにはならないと思うんです。インフルエンザと一緒に。必ずインフルエンザも、A型、B型と新しいのが出てきて、それに対応してずっと進んできていて、インフルエンザもゼロにはならない。私は、これもインフルエンザの一種でありますので、ゼロにはならないと思うんです。どこでそのかじ取りをするかということなので、今黒木委員が話したように、保健所等とじっくりその辺のところを協議しながら、対応を決定していくべきなのかなというふうに思います。ただし、あまり間際になっちゃうと、今度、交通のほうで事故があったり、いろんなことが考えられるので、しっかりした準備はすべきだと思います。幾ら準備しても、その実行の日は何事もないようにするためには、コロナの状況によっては、中止もやむを得ない状況もあるかもしれないでしょう。急遽中止ということもあるかもしれないんですけれども、やはり一つ一つの事業に対して、そこに来のお客さんのためだけじゃなくて、やはり経済活動、そういうものに携わっている人たちの疲弊した状況も踏まえながら、そしてまた、コロナの感染状況を見ながら、しっかりとした的確な判断をしていくべきなのかなというふうに感じております。いずれにしましても、このコロナの先が見えないと、オリンピックだって流れによったら中止という可能性も出てきているはずですから、そういうのも踏まえながら、慎重に石橋をたたいて渡るという気持ちを持って取り組んでいただきたいというふうに思っております。これ私ごとの意見です。

以上です。

○大津委員長 ほかにございませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○大津委員長 それでは、以上をもちまして、本日の産業消防委員会を散会いたします。

御苦労さまでした。

午前10時33分 散会